【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公表番号】特表2003-513899(P2003-513899A)
【公表日】平成15年4月15日(2003.4.15)
【出願番号】特願2001-536109(P2001-536109)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/21　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　11/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　7/18

【誤訳訂正書】
【提出日】平成16年11月24日(2004.11.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３２】
本発明において有用な高分子鉱物表面活性剤としては、高分子電解質、例えば縮合ホスホリル化ポリマー；ポリホスホネート；ホスフェート-又はホスホネート-含有モノマー又はポリマーと、他のモノマー、例えばエチレン性不飽和モノマー及びアミノ酸との、又は他のポリマー、例えば蛋白質、ポリペプチド、ポリサッカリド、ポリ（アクリレート）、ポリ（アクリルアミド）、ポリ（メタクリルアミド）、ポリ（エタクリレート）、ポリ（ヒドロキシアルキルメタクリレート）、ポリ（ビニルアルコール）、ポリ（無水マレイン酸）、ポリ（マレエート）、ポリ（アミド）、ポリ（エチレンアミン）、ポリ（エチレングリコール）、ポリ（プロピレングリコール）、ポリ（酢酸ビニル）及びポリ（ビニルベンジルクロリド）とのコポリマー；カルボキシ－置換ポリマー；およびそれらの混合物がある。適当な高分子表面活性剤は、DegenhardtらのUS5,292,501;5,213,789；5,093,170；及び4,939,284に記載のカルボキシ-置換アルコールポリマー、及びBenedictらのUS5,011,913に記載のジホスホネートから誘導されたポリマーを包含する。適当な構造はアクリル酸又はメタクリル酸とホスホネートとのコポリマーを包含する。好ましいポリマーはジホスホネート変性ポリアクリル酸である。